

屋内専用

保証書付

LEDプランター「お部屋畑」取扱説明書

お買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ご使用前に、「安全にご使用いただくために」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見られる所に必ず保管してください。



安全にご使用いただくために



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



分解禁止

- 絶対に改造・分解・修理をしない。火災・感電・けがの原因となります。故障した場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手でACアダプターの抜き差しは、しない。感電の原因になります。



禁止

- LED照明部を水につけたり、水をかけたりしない。ショート・感電の恐れがあります。
- 電源コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
- 交流100V以外では使用しない。火災・感電の原因となります。
- ACアダプターや差し込みプラグを破損するようなことはしない。次のようなことはしないでください。
 - ・傷つける・無理に曲げる・加工する・束ねる
 - ・無理にねじる・熱器具に近づける重いものを載せる・無理に引っ張る
 痛んだまま使用すると感電や火災の原因になります。ACアダプターの交換は、お買い上げの販売店へご相談ください。
- 栽培槽のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗浄剤を使用しない。有毒ガスが発生し、健康を害することがあります。
- シンナー、ベンジン等でのお手入れは、絶対にしないでください。損傷や破損のおそれがあります。



注意

けがをしたり財産損害を受けるおそれがある内容を示しています。

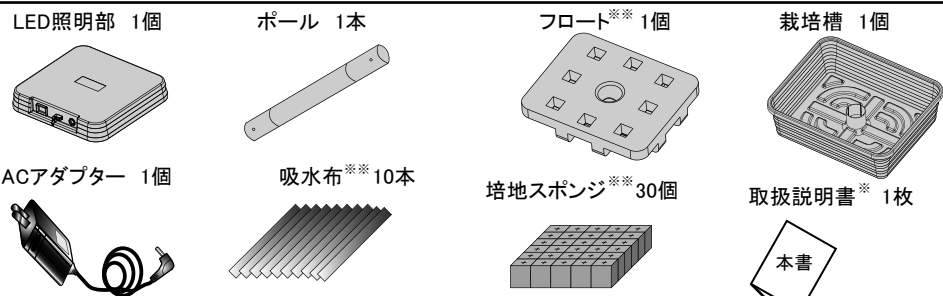


必ず守る

- LEDプランターでは、栽培槽に水をためて栽培を行うと同時に、ACアダプターを通して電気を使います。事故防止のためにも、下記の注意事項は必ず厳守してください。
- 浴室など湿気の多い場所や、屋外で使用しない。(防水仕様ではありません。)
- コンセントに差し込みプラグを挿したまま、栽培槽を動かす作業をおこなわない。栽培槽からこぼれた水が、電源部にかかると感電やショートして発火することがあります。
- 栽培途中での移動、栽培終了後の片づけなどの場合は、最初に差し込みプラグをコンセントから抜く。
- 栽培槽に水を入れた状態で次のようなことは、しないでください。
 - ・ポールを持って移動させる・栽培槽を片手で持つ
 栽培槽がはずれて落下し、けがをする恐れがあります。**必ず、栽培槽を両手で持って移動させてください。**
- 不安定な場所に置かない。LED照明部の上に物を載せない。転倒すると水がこぼれて感電・故障の原因になります。
- 使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く。けがややけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
- LEDの光を長時間直視しない。目を痛める恐れがあります。
- 差し込みプラグを抜く時は、電源コードを持たずに必ず先端の差し込みプラグをもって抜く。感電やショートして発火することがあります。
- LEDプランター本体にもものをかぶせないでください。LED照明部に熱がこもって高温になり、故障や発火の原因になります。

①付属品の確認

次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合や違うものが入っているときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。



※※フロート、培地スポンジ、吸水布は、消耗品として別売品がございませう。使いきられた場合は、お買い上げの販売店でお買求めください。

※※本商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございませう。This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

②LEDプランター組立て手順

①栽培槽にフロートを差し込む。
栽培槽の筒にフロートの穴を合わせて差し込んでください。
※フロートは平らな面が上面です。

②LED照明部にポールを差し込む。
※ポールは上下はありません。

③LED照明部を差し込んだポールを両手で持って栽培槽の筒に差し込んでください。
注意!!
必ず、両手で持ってください。

④ACアダプターのDCジャックをLED照明部のDCジャック挿入部に挿入する。
コードは必ずコード固定用リブに固定してください。

※ポールは回転防止用として、栽培槽・LED照明部には切込みを、ポールには凸部を設けてあります。下図を参考に差し込んでください。

注意

- きちんと差し込まれた状態
- × 差し込み不足の状態
- × 切込みと凸部があっていない状態

きちんと差し込まれた状態: ポールの凸部、栽培槽・LED照明部の切込み

差し込み不足の状態: ポールの凸部が切込みから浮いている

切込みと凸部があっていない状態: 切込みと凸部の位置がずれている

養液がこぼれないように水平な場所に設置してください。

③栽培の手順(水耕栽培編)

水耕栽培では、土づくりや毎日の水やりなどの手間がかからず、手軽に栽培を楽しむことができます。ここでは、水耕栽培をおこなうときの標準的な手順について、説明します。

お客様でご用意いただくもの

・プランターキットとは別に用意するもの



- ご注意とお願い
- 当LEDプランターは、植物が確実に成長する事を保証するものではありません。野菜やハーブには多くの種類があり、種類によっては種まきの適期が異なります。種の袋に記載されている適期での栽培をおすすめします。
 - 当LEDプランターは、水耕栽培用です。根菜類の栽培はできません。
 - 当LEDプランターには、種や肥料は入っておりませう。市販の種、肥料をお買い求めください。
 - 栽培槽に直接土を入れての栽培は、栽培槽に排水用の穴がございませうので水はけが悪く根腐れが発生するためおやめください。
 - 本機は、小松菜・リーフレタス・葉ネギ・サラダ菜・シュンギク・サラダ水菜・三つ葉など、葉菜類の栽培に適しています。
 - 適応ハーブには、バジル・ルッコラ・ミント・パセリなどがあります。
 - 当LEDプランターは、栽培槽からLED照明部までの高さが25cmです。それ以上に育つ植物の栽培には適しません。
 - 培地スポンジをセットするフロートの穴は、2cm×2cmです。

水耕栽培のおおまかな流れ

種まきから発芽まで

栽培器具: タッパーなど容器

栽培液: 水道水(肥料なし) 培地スポンジが乾かないように水を補給

設置場所: 明るいところに置く 発芽に光を嫌う種類の場合は暗いところに置く

定植から育成・収穫

栽培液: 養液(肥料を水道水で希釈) 栽培槽の水が下がってきたら随時注ぎ足して補給 1ヶ月ほどたつと養液がにごってきますので、新しい養液との交換をお勧めします。(1回/1ヶ月程度) (緑色の藻は、人体には影響ありません。)

条件など: LED照明部の光で栽培 必要なメンテナンス→栽培槽の掃除(1回/2ヶ月程度) 詳しくは、「④栽培槽の掃除について」を参照ください。

種には、光が当たると発芽しやすい種子(好光性種子)と、光が当たると発芽しにくい種子(嫌光性種子)があります。通常の植物では明るい場所に置き、発芽に光を嫌う種類の場合は、暗い場所に置いてください。

種まき～発芽

タッパーなどの容器に水道水を入れ、培地スポンジ全体を水に浸かるように軽く押し、十分に水を吸わせてください。

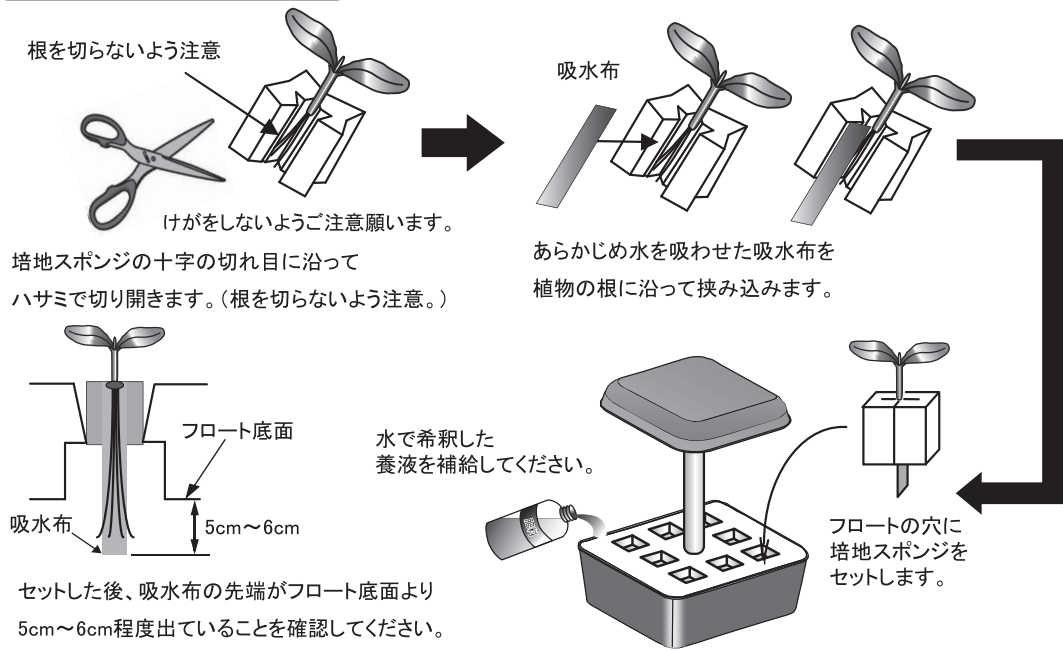
竹串等で培地スポンジの十字の切れ目に種(1~2個)を埋め込む。

発芽して、双葉が出そろえばLEDプランターへの定植準備が完了です。

埋め込む深さは1~2mm程度

培地スポンジが乾かないように水を補給してください。

LEDプランターへの定植



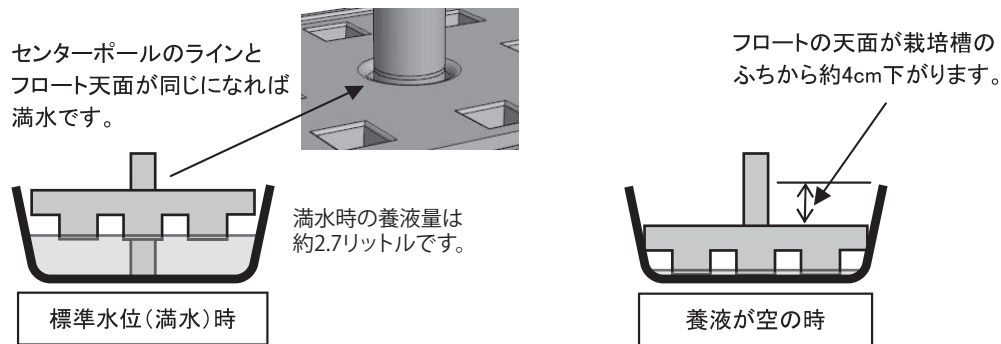
LEDプランターに定植後、2~3日経ってもしおれず本葉が生えてくれば、定植は成功です。以降は、定期的に養液を補充しLED照明をON/OFFするだけで植物は成長していきます。点灯条件は、「⑤LED照明の標準点灯条件について」を参照ください。

注意

LEDプランターの設置場所について
LEDプランターは、直射日光があたる場所に置かないでください。
・本体が変色したり、LED照明部が高温になり故障の原因となります。
・栽培槽内の養液の温度が上がりすぎて、植物の成長が阻害されます。

養液の管理

栽培中は、毎日水やりをする必要はありません。
養液の量が減ってきたら(フロート面が下がってきたら)、養液を注ぎ足して補充してください。
・養液量の目安については、下の図を参考にしてください。
・定期的に栽培槽内の古い養液をすべて捨て、新しい養液に入れ替えて下さい。(1回/1ヶ月程度)



④栽培槽の掃除について

養液中の雑菌や藻の繁殖を抑えるため、定期的に栽培槽の掃除をおすすめします。(1回/2ヶ月程度)
当LEDプランターは、栽培槽を取り外して丸洗いでできるため、掃除も簡単です。

注意

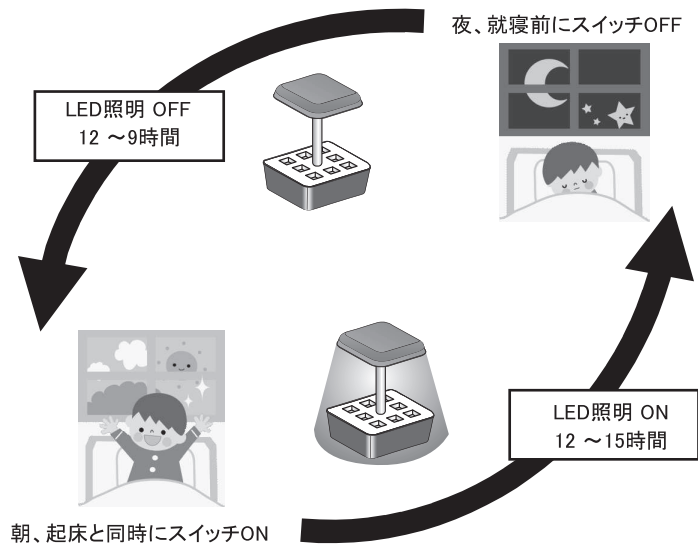
LED照明部は水につけたり、水をかけたりしないでください。
防水仕様ではありません。
内部に水が浸入し、故障の原因となります。

■栽培途中での掃除の手順

1. 電源スイッチをOFFにし、差し込みプラグをコンセントから抜きます。
2. ACアダプターのDCジャックをLED照明部から抜き、ACアダプターを取り外します。
3. LED照明部、ポールの順で栽培槽から取り外します。
LED照明部を取り外すときは、必ずポールを持って取り外してください。
4. フロートを栽培中の植物ごと持ち上げて取り外します。
フロートは、下が濡れてもよいところに、そのまま置いておいて下さい。
※植物の根を傷つけないよう注意してください。
5. 栽培槽内の古い養液を捨て、栽培槽を水で丸洗いします。
洗剤を使う場合は、家庭用の中性洗剤をご使用下さい。又、洗剤が栽培槽に残らないように水でよく洗い流してください。
6. 栽培槽の掃除が完了したら、「②LEDプランターの組立て手順」に沿ってプランターを組み立て新しい養液を入れて栽培を再開してください。

⑤LED照明の標準点灯条件について

一日(24時間)を一つのサイクルとして、以下の条件でLED照明をON/OFFさせて栽培すると、幅広い種類の植物に対応することができます。
市販の「24時間タイマー」を利用すると、毎日決まった時間にLED照明をON/OFFすることができて便利です。



「標準点灯条件」は、一般的な日照時間を再現させる条件です。
植物には、「ひなたを好むもの」、「日陰を好むもの」などいろいろな植物があります。
日照時間が長いと生育が早くなる植物や夜間に大きく成長する植物もあり、栽培する植物によりさまざまです。
栽培される植物にあわせて、LED照明の点灯時間を変えておためしください。

お客様相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-069-060
受付時間:AM9:00~PM5:30
(土・日・祝日はお休みさせていただきます)

個人情報のお取り扱いについて
株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や交換、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し交換業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

株式会社 **山善** 家庭機器事業部

<アフターサービスについて>

- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。
- 保証期間中に故障が発生した場合は、保証書の記載内容により交換いたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。
- 異常のあるときは、ただちにご使用を中止し、お買上げ販売店にご連絡ください。ご自分での分解・修理は絶対にしていただき、感電やけがのおそれがあります。
- この製品の交換用性能部品の最低保有期間は製造打切り後1年です。交換用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
(交換用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。)

⑥市販の栽培キットや鉢植え栽培編

市販されているミニ栽培キットをLEDプランターの栽培槽にセットすれば、日当たりを気にせずより手軽に栽培を楽しむことができます。また、市販の鉢植えや、土を使った栽培鉢もそのまま置くことができるので花の育成やミニ根菜などの栽培もおこなうことができます。

■栽培槽に収められる鉢の大きさ

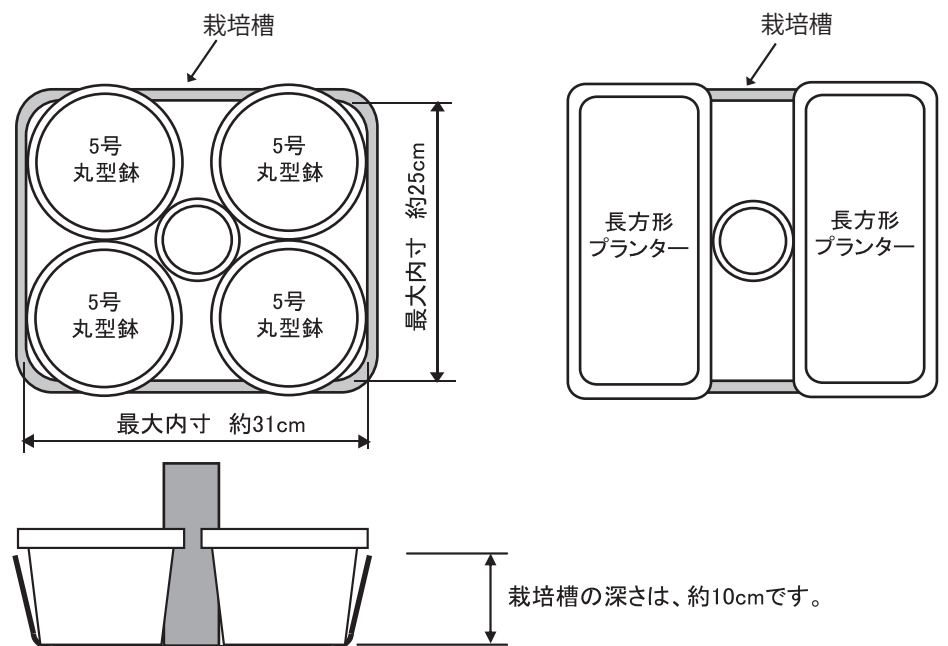
栽培槽の寸法は、最大内寸で約31cm×25cm、深さが約10cmです。

普通鉢や深鉢であれば、最大外寸15cmの5号サイズ鉢を4個、もしくは、長方形のプランター

(最大外寸28cm×15cm)を2個を収めることができます。

(形状によっては、きれいに収まらず倒れる場合がありますので、事前に必ず確認して下さい。)

※ 鉢のサイズ表示：開口部の最大外形寸法 = 号数 × 3cm(5号であれば最大外寸15cmになります。)



注意

鉢やプランターはLEDプランター本体が倒れないよう設置してください。

■栽培の仕方

- ・種まきの済んだミニ栽培キットや鉢、または市販の鉢植えなどを栽培槽内に置きます。
栽培槽が水の受け皿となりますので、鉢の下皿は必要ありません。
- ・定期的な水やり・肥料の補給をしてください。
- ・水耕栽培と同様にLED照明のON/OFFを続けてください。
点灯条件は、「⑤LED照明の標準点灯条件について」を参照ください。
- ・鉢をセットしたまま、水やりをすることができますが、LED照明部や電源コード等に水が掛からないよう注意して下さい。